

GAA加盟クラブによる1887年の総合的スポーツ大会の一考察 —セントパトリックス・ゲーリック・アスレティック・スポーツの事例から—

榎 本 雅 之

はじめに

GAA(Gaelic Athletic Association)は、アイルランド人のためにアイルランドの伝統的な跳躍種目や投擲種目を加えたアスレティックスの大会を開催することと、ハーリングやゲーリックフットボール(以下GAAスポーツ)といった国民的娯楽(national pastimes)を復活させることを目的に1884年、マイケル・キューザックにより設立された。¹この2つの目的によって、設立されたGAAだが、その初期のスポーツ活動の中心はアスレティックスの大会を開催することだった。² 設立から2年間で、アイルランド国内で対立する組織であったIAAA(Irish Amateur Athletic Association)との会員獲得競争に勝利し、アイルランド国内でその地位を確かなものとした。³ 1886年の11月に開かれたGAAの総会で、GAAスポーツの全国大会(All Ireland Championships)の開催や、ルール改正が行われ⁴ これまで以上に国民的娯楽の復活・普及に力を注ぎ始める。

1886年までにスポーツ大会(sports meeting)やGAAスポーツが開催された場所では、新しいクラブが生まれ⁵、1887年以降も継続してアスレティック大会やGAAスポーツが開催された。GAAスポーツは、これらのクラブを軸に普及させていくこととなる。これらクラブの活動は、アスレティック・スポーツ大会の開催を行うことや、GAAスポーツのゲームを単独で行うことが中心であったが、認知度を高めていたGAAのアスレティック大会にGAAスポーツを組み込んだ総合的スポーツ大会を開催したクラブもあった。本研究では、これら総合的スポーツ大会の中で最大級の規模で行われたセントパトリックス・ゲーリック・アスレティック・スポーツ(以下セントパトリックス・スポーツ)の実態を当時のGAA専門紙*Celtic Times*⁶に掲載されたスポーツ活動の記事や大会に関する批評から明らかにする。そして、GAAの諸活動の中で伝統スポーツとアスレティック・スポーツを同一の大会内で実施した総合的スポーツ大会の位置づけを考察することを目的とする。

研究の方法

1887年に発行されたGAAの専門紙である*Celtic Times*の復刻版を用い、セントパトリックス・スポーツに関する記事から、①大会広告、②大会の記事、③その他の関連記事、を抽出し、「大会運営に関して」、「スポーツ活動に関して」、「記者による見解」に整理し、GAA

の諸活動の中でのセントパトリックス・クラブが開催した総合的スポーツ大会について考察を加える。

①大会広告にみる総合的スポーツ大会の告知

セントパトリックス・スポーツに関する大会広告は8月13日から9月3日の計4回(No. 33-36)にわたり掲載された。8月13日と20日の広告は同じ内容で、27日と9月3日の広告は若干の変更が加えられた。8月13、20日の広告の内容は、大会名称；St. Patrick's Athletic Club(Dublin) First Annual Sports and Football Tournament、開催場所；カウンティ・ダブリンのInchicore, Golden Bridgeにあるクラブのグラウンド、日時；8月28日の日曜からその後の日曜、11時開始、プログラム；8月28日はフットボールトーナメント(参加費は21シリング)、9月4日はフットボールトーナメントの続きとオープンのアスレティック種目、9月11日はフットボールのトーナメントとクラブのアスレティック大会、オープンのアスレティック種目；

100ヤードハンデキャップ走、440ヤードハンデキャップ走、ハーフマイルフラットハンデキャップ走、120ヤードハードルハンデキャップ走、3マイル競歩ハンデキャップ、走り幅跳び、走り高跳び(Scratch)、棒跳び(Scratch)、助走つき7ポンド重量なげ(Scratch)、助走つき14ポンド重量なげ(Scratch)、助走つき28ポンドプティング(putting)(Scratch)、助走つき56ポンドスリンギング(slinging)(Scratch)、助走つき16ポンドハンマー(3フィート6インチの柄)投げ、フットボールブレスキック、ハーリングボール持ち上げ打ち、綱引き(1チーム8名)：各種目の参加費は2シリングで綱引きのみ5シ

St. Patrick's Gaelic Athletic Club (Dublin)
FIRST ANNUAL SPORTS
AND FOOTBALL TOURNAMENT,
Under the Laws of the Gaelic Athletic Association,
 WILL BE HELD
On Sunday, 4th September, 1887, and following Sundays,
 AT THEIR CLUB GROUNDS,
GOLDEN BRIDGE, INCHICORE,
Commencing at 11 o'clock, a.m.

VALUABLE PRIZES will be given in each of the Events, and Gold and Silver Medals for 1st and 2nd in Football Tournament, provided there are no Entries.

Handicapper—
 F. B. DINNEEN, *Official Handicapper of the Association.*

Programme for Sunday, 4th September.
FOOTBALL TOURNAMENT, Entrance Fee for Team, 21s.
(Due notice will be given of Ties to be played on this day.)

Programme for Sunday, 11th September,
Continuation of FOOTBALL TOURNAMENT,
(Due notice will be given of Ties to be played on this day.)

OPEN ATHLETIC EVENTS. ENTRANCE FEE.
 s. d.

1	100 Yards Handicap	2	0
2	440 Yards Handicap	2	0
3	Half Mile Flat Handicap	2	0
4	One Mile Flat Handicap	2	0
5	120 Yards Hurdle Handicap	2	0
6	Three Miles Walk Handicap	2	0
7	Running Long Jump	2	0
8	Running High Jump (Scratch)	2	0
9	Pole Jump (Scratch)	2	0
10	Throwing 7lb. Weight, with follow (Scratch)	2	0
11	Throwing 14lb. Weight, with follow (Scratch)	2	0
12	Putting 28lb. Weight, with follow (Scratch)	2	0
13	Slinging 56lbs. Weight, with follow (Scratch)	2	0
14	Throwing 16lb. Hammer, with follow (3ft. 6in. handle) from a scratch line	2	0
15	Football Place Kick	2	0
16	Rising and Striking Hurling Ball	2	0
17	Tug of War (Right side)	5	0
18	220 Yards Handicap	2	0

Programme for Sunday, 18th September,
HURLING MATCHES,
Continuation of FOOTBALL TOURNAMENT.
(Due notice will be given of ties to be played on this day.)

And Club Athletic Events.

Entries for all Events close on Wednesday, 31st August, with J. DREA, Hon. Sec., 10, Mountain View, South Circular Road, Kilmainham.

No late Entries will be received; nor will any Entry be accepted without the Entry Fee.

General Entry, for Open Athletic Events, 7s. 6d.

The Committee reserve to themselves the right of rejecting any Entry or altering the Programme.

Entry for Hurling, 21s. each Team. *(The Central Executive G.A.A. have kindly presented a CUP, value £5 5s., for this Event.)*

Programmes and Entry Forms can be had at the Office of the *Celtic Times*.

資料1. 8月27日・9月3日掲載分広告

リング、またその他に；GAAの規則の下、大会は開催される；協会の公式ハンディキャッパーであるF. B. Dineenがハンデキャップを行う；各イベントで素晴らしい賞品が与えられる；フットボールトーナメントで10チームのエントリーがあったとき、1位と2位のチームに金色と銀色のメダルが与えられる；エントリーの遅れは認められず、エントリー料はエントリー時に支払わなければならない；一般的なエントリーは7シリング6ペンスである；委員会はエントリーを拒否する権利とプログラムを変更する権利を有する；プログラムとエントリー用紙は*Celtic Times*の事務所にある、といった記載があった。

8月27日9月3日分の掲載広告では、大会の開始が9月4日になり、それぞれ1週ずつ遅れるようになったことが大きな変更である。また、オープンのアスレティック種目に220ヤードハンデキャップ走が加わり、「ハーリングのエントリーは各チーム21シリングである（GAAの中央執行部よりこの種目に5ポンド5シリング相当のカップが贈呈される）」との文言の追加があった。

②大会記事⁷ にみる総合的スポーツ大会の実態

・9月4日日曜（初日）⁸

記事は新聞全8ページのうち1ページにわたりこの大会のことが掲載されている。

まず、本大会の紹介がある。大会は、セントパトリックスクラブの主催により、毎週日曜、数回にわたり開催される。この大会を行うセントパトリックスクラブのグラウンドについて以下のように述べ、

キルメイナムにあるクラブの新しいグラウンドは訪れてみる価値のある場所だ。クラブによって建てられた美しく大きなスタンドは、1,000人の観衆を収容できるサイズである。グラウンドはおよそ10エーカーほどの広さがあり、周りを家などが囲っている。また、更衣室や食事をとれる場所がある。セントパトリックスクラブの旗が揚々と風になびいている。

フィールドはハーリングやゲーリックフットボールを行うのに非常に適しており、ダブリン周辺でこれと同等のまるで絵画のような快適なグラウンドはない。

グラウンド環境が非常によく、また興行者は観衆のために十分な設備・施設を準備したと記者は評価している。

初日は、「この日は多くの障害があった。近くで他のアスレティック大会が開催されており、何より最も興行者を悩ませたのは天気だった。」という中で大会開催だったが、最終的に5,000人の観衆を集めた。観衆、大会運営など、全てが素晴らしく「真のゲール人の大会」だと記者は評価している。しかし、記者から、この日のプログラムがゲーリックフットボールだけであったことから、「4時間も5時間も『膀胱の蹴り合い』を見ているのは観

衆にとってあまりにも退屈すぎる。いくつかの競走種目か跳躍種目、投擲種目を混ぜること
で観衆を楽しませることができる。」と指摘している。

最後に翌週の大会に関して述べられ、プログラムの内容が今週よりもずっと魅力的になる
ことや、GAAの公式ハンディキャッパーであるF. B. Dineenが来ること、かつての英国で
の高跳びのチャンピオンであったP. J. Kellyが競技することが述べられている。

記者の記事の後、この日行われた競技の詳細が書かれている。この日は4試合のゲーリ
ックフットボールの試合が行われた。

最初の記事は、PhoenixとFinton Lalorsの試合の詳細である。試合は11時30分に開始し、
レフリーを行ったKickham'sの選手のスローインによって試合が始まった。試合内容につい
て述べられ、試合結果は10ポイント(4フォーファットポイント)対0でPhoenixが勝利した。
出場した選手についてキャプテン、ゴールキーパー、他19名の選手とフィールドアンパイ
ア1名、ゴールアンパイア2名の両チームの名簿が掲載された。

2試合目のFeagh McHughsとDavittsの試合も同様に試合について書かれている。ただし、
記事の冒頭部に「この日のもっともおもしろい試合」という評価があり、そのためか、試
合内容もより詳細に書かれている。試合のレフリーはセントパトリックスフットボールク
ラブのキャプテンであるJohn Wallが行った。最終的な試合結果は4ポイント(1フォーファ
ットポイント)対2ポイント(1フォーファットポイント)でDavittsが勝利した。記事の最後
には、Davittsの強さが際立っていたことを述べ、金メダルのための決勝の組み合わせが、
この2チームにKickhamsを加えた3チームで争われることを予想している。また、両チ
ームの名簿には1試合目と同様、キャプテン、ゴールキーパー、他19名の選手とフィール
ドアンパイア1名、ゴールアンパイア2名の名前が掲載されている。

3試合目はGreen Flag (Chapelizod)とGoldsmithsの試合だった。この試合に対して、記者
は「とても退屈な試合だった」と述べている。最終結果は1ゴール12ポイント(7フォーフ
ァットポイント)対7ポイント(2フォーファットポイント)でGreen Flagが勝利した。試合
内容も大まかに書かれており、Goldsmithsの選手名簿しか掲載されなかった。ここでは、
キャプテン、他20名の選手の名前が掲載された。

4試合目はKickhamsとLeinsterの試合だった。この試合に対して記者は、「Kickhamsが相手
に対して圧倒的な勝利を納めたということのみ興味深い試合だった」と評価している。2
試合目にレフリーをしたセントパトリックスクラブのWallが再びレフリーを行った。試合
結果は、6ゴール16ポイント(1フォーファットポイント)対0でKickhamsが勝利した。記
者は、Leinsterに対して、いくつかのプレーに良い点が見られたが、良い結果を得るにはも
う少し練習が必要だと指摘している。また、記事の分量自体は3試合目と同じ程度で、試
合の詳細はほとんどわからない。最後に両チームの名簿が掲載されており、キャプテン、
ゴールキーパー、他19名の選手とフィールドアンパイア1名、ゴールアンパイア2名の名
前がある。

・9月11日日曜（2日目）⁹

初日同様、記事は新聞全8ページのうち1ページにわたり掲載されている。

見出しの後に、大会の役員(Officials)名が記載されている。パトロンはCroke大司教、Charles S Parnell議員、Michael Davitt、John O'Leary、大会長はWm. M Murphy議員、副大会長はJ. J. Kennedy先生、Zachariah Coe、幹事は「委員会(the Committee)」、審判はJ. B. O'Reilly、J. Wall、J. Allen、G. Boyle、J. Smith、M. Healy、P. S. Larkin、Z. Coe、H. Farrelly、ハンディキャッパーはGAAの公式ハンディキャッパーであるF. B. Dineen、スターターは、F. Drea、タイムキーパーはP. Donleavy、C. Bishop、電報係(Telegraph Steward)は、T. Rooney、J. Ward、呼び出し係(Call Steward)はJ. Allen、J. Neilson、幹事長(Hon. Sec.)はJ. Dreaが務めた。

記事の冒頭には、先週行われたこの大会がこれまでに類を見ない成功を納めたことを述べ、その理由として、純粋なアスレティック大会であったこと、エントリーした選手が非常に多かったこと、内容は好レースが多くおもしろかったこと、運営の段取りが良かったこと、大会役員が期待されていた仕事を果たしたことをその評価の理由にあげている。しかし、この大会には、GAAに加盟していないクラブのアスレティック大会に参加した選手がおり、規約により、出場停止処分を受けている。記者はこの事実があったことは残念だったが、「たとえ選手にGAAに対する裏切りの意志はなかったとしても、規則¹⁰ はどんな犠牲を払っても守るべきだ」と述べ、出場停止処分を行った運営を評価している。また、この日の天気が悪かったにも関わらず、多くの観衆がつめかけ、その姿勢も「品のよい」と評価されている。

次に「人物批評」と小見出しのついた記事があり、これまでの記事では見られなかった。各役員についての記述が行われている。ここでは、Drea、Larkin、Graham、Wallが他の役員以上によく働いていたこと、J. B. O'Reillyの素晴らしさを評価している。一方で、タイムキーパーであるはずのDonleavyが時間を計っておらず、代わりも誰もいなかったことを指摘している。また、タイムキーパーの仕事を行わなかったDonleavyがスターターの仕事を行った際、いつもの2つ銃身(Double-Barreled)のあるピストルではなくて、小さなピストルで行ったことが記載されている。

「賞品」と小見出しのついた記事には、具体的な賞品に関する記述はない。しかし、それが「実用的で美しいもの」との記述がある。大会の後で、Corless夫人によって、賞品が手渡された。

アスレティック・スポーツとして行われた100ヤードハンデキャップ走(5組の予選の後決勝)、助走付き7ポンド重量投げ(スクラッチ¹¹)、走り幅跳び、220ヤードハンデキャップ走、ハーフマイルフラットハンデキャップ走、助走つき16ポンドハンマー投げ(柄の長さは3フィート 6インチ)、1マイルフラットハンデキャップ走、走り高跳び、助走つき28ポンド砲丸投げ(スクラッチ)、助走つき56ポンドスリンギング投げ(スクラッチ)、棒跳び(スクラッチ)、助走つき14ポンド重量なげ(スクラッチ)、440ヤードハンデキャップ走、フ

ットボールプレースキック、120ヤードハードルハンデキャップ走、3マイル競歩ハンデキャップ付き、綱引きの結果が掲載された(詳細は表1参照)後、ハーリング拾い上げ打ちが翌週に延期されたこと、翌週はクラブ会員のアスレティック種目の他、ハーリング、ゲーリックフットボールの試合を行う旨の案内があった。また、St. James's ブラスバンドが参加しており、ナショナリストを鼓舞する曲である「God Save Ireland」などを演奏し、民族的な雰囲気を生み出したことを記載している。

・9月18日日曜(3日目)¹²

記事は新聞1ページのうち3分の2を占める分量で掲載されている。

この日の天気は非常に良かったが、観衆はあまり集まらなかった。この日のプログラムはDavittsとKickhamsのハーリングの試合、DalkeyとGeraldinesのゲーリックフットボールの試合、先週延期されたアスレティック種目、そしてクラブメンバーを対象としたアスレティック種目が行われた。ハーリングとゲーリックフットボールの試合は素晴らしかったが、その後は退屈だったと記者は述べている。

KickhamsとDavittsのハーリングの試合は11時45分に選手が整列し、Wall氏がレフリーを務め、遅滞なく試合が行われた。試合内容は、この日の大会の記事全体の半分を用いるほど詳細に記述されている。試合結果は、2ゴール、3ポイント、1フォーファットポイント¹³ 対1ゴール、4ポイント、4フォーファットポイントでKickhamsが勝利した。また両チームの名簿も掲載されているが、KickhamsのキャプテンがF Coghlanであったという記述のみで、これまでのようにゴールキーパーやアンパイアを誰が務めたかは書かれていない。

次にGeraldinesとDalkeyのゲーリックフットボールの試合が行われた。記者は、この試合については何も述べる必要がなく、意味のない試合で、興奮するプレーも時折見られたが、それは長くは続かなかつたと述べている。それでも、記者は前回Geraldinesの試合を見た時よりも、彼らのパフォーマンスが良くなっていることを指摘している。最終的な結果だが、記者は「不思議なことに試合終了前にレフリーがいなくなり」、おそらく2ポイント、6フォーファットポイント対0でGeraldinesが勝利したと述べている。他のハーリングやゲーリックフットボールの試合結果の記事に見られた選手名簿は、この試合にはない。

ハーリングとゲーリックフットボールの試合が行われた後、延期されたアスレティック種目とクラブのアスレティック種目が行われた。このことに関する記事はなく、結果のみが掲載された。延期されたアスレティック種目はハーリングボール持ち上げ打ちのみで、クラブのアスレティック種目は、高跳び、100ヤードハンデキャップ、440ヤードハンデキャップ、走り3段跳び(ホップ、ステップ、ジャンプ)、1マイルフラットハンデキャップが行われ、Christian Brothers' Schoolの少年限定で440ヤード走(高学年対象)とハーフマイルレースが行われた。

・ 9月25日日曜（4日目）¹⁴

記事は新聞1ページのうちの半分を占める分量で掲載されている。また、その記事のおよそ半分をGAAの中央執行部に対する非難が占めている。

この日の観衆は少なく、ただし、それはセントパトリックスクラブの運営が悪かったからではなくて、GAAの中央執行部の支援のなさによるものだと指摘している。これまではなかった次週の予告として、11時から金メダルをかけたKickhams対Davittsのゲーリックフットボールの試合、12時からGeraldinesとPhoenixのゲーリックフットボールの試合、その後にはチャレンジカップをかけたセントパトリックスとKickhamsのハーリングの試合が行われることを記載した。また、Phoenixプラスバンドも参加することを連絡している。

最初の試合はKickhamsとRappareesのハーリングの試合だった。この試合はKickhamsが圧勝するひどい試合だったが、Rappareesは必死に守備をし、記者はその姿勢を評価している。試合結果は、3ゴール、1ポイント、10フォーファットポイント対0でKickhamsが勝利した。

次にGeraldinesとGreen Flags (Chapelizod)の試合が行われた。おもしろい試合だったと、記者は述べているが、試合の経過の簡単な記述が掲載されている。試合結果は1ゴール、6ポイント、5フォーファットポイント対1フォーファットポイントでGeraldinesが勝利した。

最後にセントパトリックスとGoldsmithsの親善試合が行われた。この試合に対して、両チームとも人数が不足しており、報告する必要がないと記者は述べ、試合の結果やハーリング又はゲーリックフットボール、どちらの試合を行ったのかの記述もない。おそらく、これまで両チームはゲーリックフットボールの試合を行っていたことから、ゲーリックフットボールが行われたと考えられる。

・ 10月2日日曜（5日目）¹⁵

記事は新聞1ページのうちの3分の1を占める分量で掲載されている。

最初に大会がこの日で終了することと、観衆の数が前の2週間と比べて多かったことが述べられた。また、セントパトリックスクラブの活動をたたえ、ダブリンのクラブで主要な地位につくだろうとの評価をしている。

この日、KickhamsとDavittsのゲーリックフットボールが行われる予定であったが、Davittsが会場に現れず、次のGeraldinesとPhoenixの試合が行われるまでの間、即興でセントパトリックスクラブの準備のできていなかったメンバーとKickhamsが試合を1時間半行った。Phoenix醸造所の楽団が参加し、素晴らしい音楽を演奏した。

この日行われた試合の詳細は、GeraldinesとPhoenixのゲーリックフットボールの試合のみ記載されている。この試合はWall氏がレフリーを務めた。試合内容は詳細に記述されており、最終結果は2ポイント、4フォーファットポイント対1ポイントで、Geraldinesが勝利した。各チームの選手名簿は掲載されていない。

③その他の関連記事

- ・ 9月3日号 Harmonic Rays¹⁶ のトピックとして

翌日(9月4日)にセントパトリックスクラブの大会が開催されることの告知と、このクラブがダブリンで最もGAAに忠実なクラブであるという紹介、大会が開催される場所が案内され、見に行き、大会を盛り上げようということが書かれている。

- ・ 9月17日号 不定期に掲載されるGAAのクラブの紹介の一つとして

記事のタイトルは「THE ST. PATRICK'S GAELIC ATHLETIC CLUB (KILMAINHAM)」で、記事の内容は、翌日(9月18日)に開催される大会の告知で、プログラムの内容を詳細に掲載し、疑いもなくすばらしいゲームになるだろうと宣伝している。また、クラブの施設を評価し、是非、見に行き、クラブを支援すべきだと主張している。

セントパトリックス・スポーツ大会に関するまとめ

○運営に関して

広告は、大会が行われる約4週間前から掲載された。ここでの内容は、開催日時、開催場所、賞品が贈呈されること、大会のプログラム、エントリー料を徴収し、エントリー用紙によって参加者を管理することが読み取れ、大会の準備は組織化され、整っていたと考えられる。また、実際の大会は最初2回の広告で告知された日程よりも1週間延期されて開催されることになった。この延期の告知が広告によって事前に行われたからか、これに関する不満は見られない。また、延期になった理由の記載は見られず、広告によって一方的に連絡されたものだった。

総合的スポーツ大会を運営したセントパトリックス・クラブの施設は非常に優れていて、選手だけでなく、観衆が満足できる施設を備えていたことが指摘されている。ただ、観衆を集めるという点では、天気やプログラム内容に左右されることが多かったようである。特にプログラム内容に関しては、ゲーリックフットボールのみを一日に何試合も行うことに対して、記者に、いくつかのアスレティック種目をいれるべきだ、という指摘を受けている。

二日目の大会では記事の冒頭に、大会の役員名が記載されており、役割が明確にされ、かつ分業によって運営されていたことを示している。また、大会役員として記載はないが、賞品を贈呈するプレゼンターの存在も記事にあり、単にスポーツを行うだけでなくセレモニーの準備も上手くできていたと考えられる。二日目の運営全般に関しては、「段取りが良い」との評価を受けている。また、この日のアスレティック種目には、GAAの大会に出場する資格のない選手が参加していたが、その選手を出場停止処分にし、規則を忠実に実行していることが記載されている。2日目以外の日程で他に出場停止処分になった選手はいない。

運営を行っていたセントパトリックス・クラブのメンバーは、3日目にクラブアスレティクスを行っているものの、ゲーリックフットボールやハーリングの大会には参加していない。また、5日目にDavittsが大会に来なかったことにより、急速にセントパトリックスのメンバーが試合相手のいなくなったKickhamsと試合をしている。他にも、セントパトリックス・クラブのJohn Wallがゲーリックフットボールのレフリーを行うなど、セントパトリックス・クラブはこの大会の競技に参加することよりも、大会を運営することに力を注いでいることがわかる。

ブラスバンドの参加をクラブが要請したのかは不明だが、ブラスバンドが参加し、大会の雰囲気盛り上げている。

○スポーツ活動に関して

5日間行われた大会では、初日はゲーリックフットボールのみ、2日目はアスレティック種目のみ、3日目はアスレティック種目とハーリング、ゲーリックフットボール、4日目5日目はハーリングとゲーリックフットボールが行われている。このことから、アスレティック種目、ハーリング、ゲーリックフットボールを同一名称の大会で複数日にわたり開催されているが、各競技が概ね分割して行われていることがわかる。

ハーリングやゲーリックフットボールでは、試合をするクラブ以外の選手でレフリーを行い、公平性を保つ工夫が見られる。しかし、アンパイアやゴールアンパイアはそれぞれ試合をするクラブの選手が務めている。

ハーリングとゲーリックフットボールの試合結果を整理すると表ようになる。試合結果をみると、結果の掲載された9試合のうち6試合で、負けたクラブは1ポイントまたは0ポイントしかとれておらず、大敗している。このことから、この頃、各クラブ間に歴然とした力の差があったことが考えられる。反対に、接戦となった試合は初日のゲーリックフットボールのFeagh McHughes対Davittsの試合と3日目のハーリングのKickhams対Davittsの2試合のみである。

観客数は新聞記事から、3日目から5日目にかけて観衆が2日目よりも少な

表 ゲーリックフットボール／ハーリング結果
ゲーリックフットボール

	対戦クラブ		レフリー	
初日	Phoenix 10p(4fp)	Finton Lalors 0	Kickhamsの選手	
	Feagh McHughes 2p(1fp)	Davitts 4p(1fp)		St. Patrick'sの John Wall
	Green Flag 1g12p(7fp)	Goldsmiths 7p(2fp)	記載無し	
	Kickhams 6g16p(1fp)	Leinster 0	St. Patrick'sの John Wall	
	3日目	Geraldines 2p6fp	Dalkey 0	記載無し
		4日目	Geraldines 1g6p5fp	Green Flag 1fp
5日目	Geraldines 2p4fp		Phoenix 1p	St. Patrick'sの John Wall

ハーリング

3日目	Kickhams 2g3p1fp	Davitts 1g4p4fp	記載無し
	Kickhams 3g1p10fp	Rapparees 0	

記載無し

4日目	Geraldines	Goldsmiths	記載無し
	記載無し		
5日目	St. Patrick's	Kickhams	記載無し
	記載無し		

g:ゴール、p:ポイント、fp:フォーファットポイント

くなったことが指摘されている。アスレティック種目のみを行った2日目が最も多く観衆を集めている。

○Celtic Timesの記者による大会の見解

セントパトリックス・クラブが開催した5日間にわたる総合的スポーツ大会は、大会が行われるまでに4度の広告掲載があり、Celtic Timesの編集者であるキューザックもコラムで取り上げ、クラブへの支援を要請するほどの力の入れようだった。そのため、一大会であるにも関わらず、一ページもの紙面を使って報道されたり、観衆が少なくなると、再び大会の案内を行うなど、他のクラブが運営する大会とは異なる報道を行った。そのためか、セントパトリックス・クラブの運営や大会についての非難はほとんどない。初日には、すでに大会を「真のゲール人の大会」と評価し、2日目の出場停止者が出た際の運営に対しても、高い評価を行っている。初日のプログラムがゲーリックフットボールのみであったことに対して、アスレティック種目を導入し、観客を飽きさせない工夫が必要であるとの指摘を行っているが、運営に関して否定的な記事は見られない。

3日目の観衆が少なかったことに対して、この原因をGAAの中央執行部の責任であると述べ、記事の多くをその内容で占めているが、大会とはほとんど関係のない内容である。大会は2日目をピークに観衆の数が減少するが、この観衆の関心に比例してか、記事の分量も2日目をピークに縮小された。そのため、5日間にわたる大きな大会であったにも関わらず、最終日の記事は、セントパトリックス・クラブの約1月にわたる努力を讃えたこと以外は、一般的なハーリングとゲーリックフットボールの試合結果が掲載された記事と何ら変わりはない。

結論

5日間にわたり開催されたセントパトリックス・スポーツは、全体を通してみると、アスレティック種目とハーリング、ゲーリックフットボールを同一大会内で行った総合的スポーツ大会だった。しかし、実状は、3日目の開催日を除いて、行われた競技が分類されており、一日だけを見ると当時の一般的なアスレティック大会やハーリング、ゲーリックフットボールの単独の大会と変わらない。しかし、ハーリングやゲーリックフットボールのみの開催である初日、4日目、5日目においても「ゲーリック・アスレティック・スポーツ」の名称を冠していることから、これまで国民的娯楽(national pastimes)と考えていたハーリングやゲーリックフットボールもアスレティック・スポーツの一種或はゲーム(game)として、娯楽からスポーツに変わったことを示そうとしているのではないか。

また、1887年の段階では、これまでのアスレティック種目を行った2日目に多くの観衆が集まっている。しかし、アスレティック種目が終了し、ハーリングやゲーリックフットボールの試合が中心になると、集客が困難になる。もちろん、ほとんどの試合において大

差で勝敗が決まる面白みのない試合が多いのだが、試合内容の面白さよりも試合結果が明らかなので、観衆の好む賭けの対象とならなかったのではないだろうか。記事では、賭けについて全く言及されておらず、むしろ大差のついた試合でも敗者を評価するなどの記述によって、試合内容が充実していることを報道する姿勢が見られる。これは記者がGAAスポーツを普及させようとする姿勢が表れた記事だと考えられるが、当時のスポーツ活動における日常的な賭けの実態から、賭けの対象として未成熟であったGAAスポーツが行われる日は集客が困難だったと考えられる。そこで、GAAスポーツを普及するために、賭け以外の価値を与えようとしている記事だと言えよう。

セントパトリックス・クラブが運営したスポーツ大会は、一般的となっていたアスレティック種目とまだ浸透していないハーリングやゲーリックフットボールを共に行うことによる普及活動としてではなく、これまで国民的娯楽と称していた娯楽を、アスレティック種目或はゲームの一種であり、スポーツとなったことを示そうとした大会だと考えられる。また、記者は観衆数に関心があるものの、クラブの大会運営は、集客のためのプログラムを行っているわけではない。しかしながら、アスレティック種目にクラブイベントと、数試合のGAAスポーツの参加にとどまっており、大会を通じて運営に徹している。したがって、大会を運営することは、自分たちのクラブがスポーツを楽しむということの他に、何らかの目的をもって大会を運営していたと考えられる。

注

- 1 Marcus de Burca, Michael Cusack and the GAA, Anvil Books, 1989, p.81
- 2 Marcus de Burca, The GAA, H History, Second Edition, Gill & Macmillan, 2000, p.15
- 3 de Burca, op.cit. , 1989, p.119
- 4 Seamus J. King, A History of Hurling, Gill & Macmillan, 1996, p.46
- 5 de Burca, op.cit. , 2000, p.22
- 6 GAAを追放された設立者Michael Cusackが編集長となり、1887年1月1日から約1年、毎週土曜に発行された。5月には約20,000部発行されたが12月には10,000部にまで落ち込み廃刊となる。本研究で用いたのはカウンティ・クレア図書館による復刻版で、8-53号までが収録されている。
- 7 各日程で記者の表記が異なっている。これらの記者が単に新聞での表記を変えた同一人物なのか、毎回異なる記者による記事なのかは不明である。初日：Our Sublime Reporter, 2日目：Gorgeous Reporter, 3日目：Our Special Reporter, 4, 5日目：Our Reporter
- 8 *Celtic Times*, No. 37, 9月10日号
- 9 *Celtic Times*, No. 38, 9月17日号
- 10 GAA規則の第12項「本協会以外のルールでハーリング、ハンドボール、フットボールを行ったアイルランドのクラブの会員は、GAAに加盟するクラブの会員になることができない；そして、アイルランドの他のアスレティック・クラブの会員はGAAの会員になることができない。(That any member of a club in Ireland hurling, playing handball or football under rules other than those of this Association, cannot be a member of any club affiliated to the GAA; and that members of any other

- Athletic Association in Ireland cannot be members of the GAA.)」Celtic Times, 6月18日号
- 11 現在のゴルフのルールでスクラッチはハンデキャップ無しの意味であることから、おそらくハンデキャップをつけずに行うという意味であろう。
 - 12 *Celtic Times*, No. 39, 9月24日号
 - 13 これまでの得点の記述が、例えば10 points (4 forfeit points) であったのに対し、今回の記述は4 points and 4 forfeit pointsという記述であったため、フォーファットポイントの記述の仕方を変えた。
 - 14 *Celtic Times*, No. 40, 10月1日号
 - 15 *Celtic Times*, No. 41, 10月8日号
 - 16 編集者のマイケル・キューザックによって毎回掲載されたコラム